

「陣痛促進への鍼灸治療の比較検討」

釧路市 あんずの種 ○須藤隆昭 松原麻実

目的

助産院「マタニティアイ」からの紹介で、過去18年間で153名の陣痛促進希望者に鍼灸治療を実施。これは紹介者全体の35%にあたり、骨盤位の25%より多い割合となる。

2008年に100例の報告を全日本鍼灸学会で実施。その後の8年間の53例をまとめ、結果の違いを比較しながら、総合的に陣痛促進への鍼灸治療の有用性を検討した。

方法

本治法で全身調整、腎経・脾系・肝経の何れかの原穴に切皮程度の刺鍼。基本穴として至陰、三陰交に1から2ミリ程度の刺鍼。棒灸・ミニ灸などで施灸。お腹のハリなどを確認しながら、陣痛促進が弱いものに、耳穴の神門・子宮点などに王不留行を貼付。3年前より、予定日を2日以上超過したものに合谷を追加。

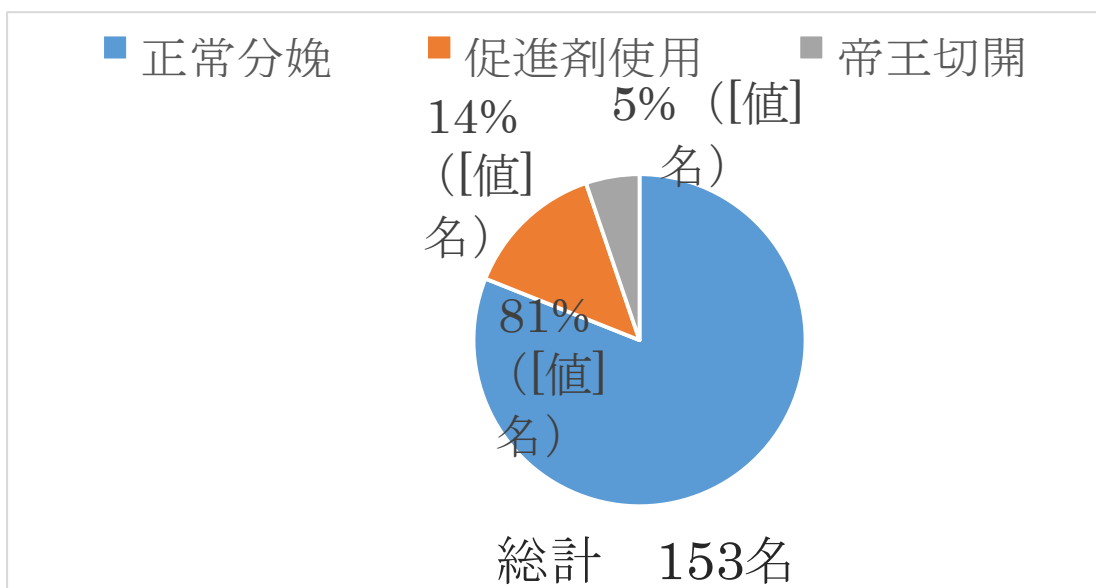
結果

前回 正常分娩 75% 陣痛促進剤使用が17% 経膣分娩は92%、

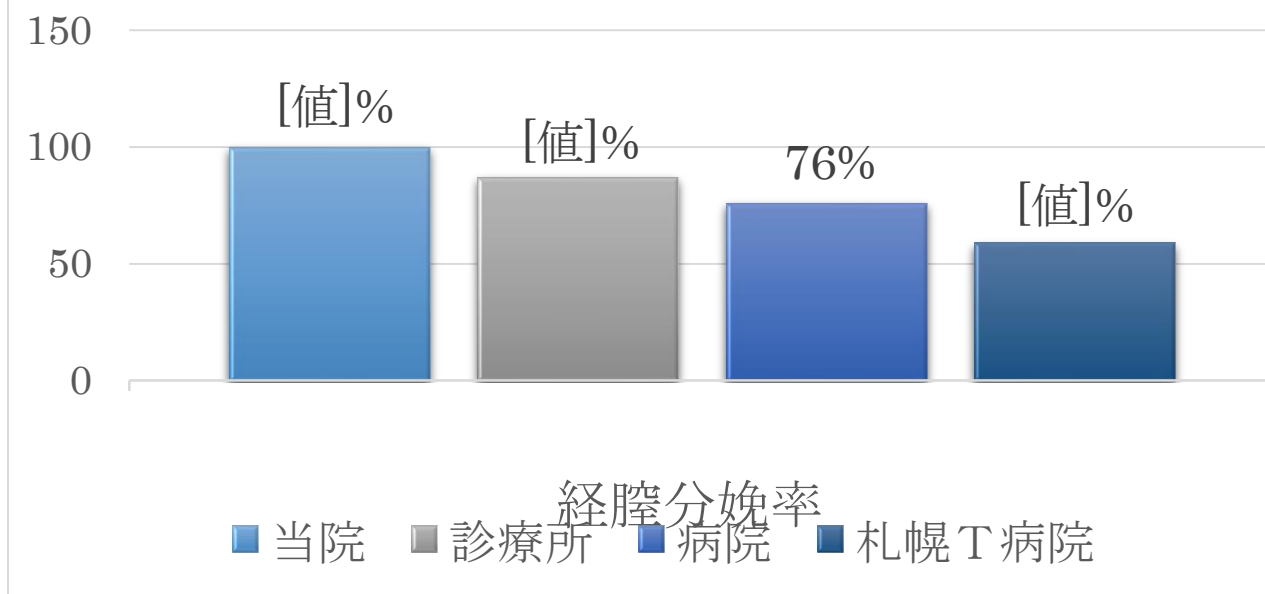
今回 正常分娩 92%、陣痛促進剤使用8% 経膣分娩は100%

前回と今回の総計 正常分娩が81% 陣痛促進剤使用が14% 経膣分娩は95%

治療回数は、1回から6回で、平均2.0回 1回の治療で出産となった例は25例。



全国平均と個人病院との比較



考察

鍼灸治療による陣痛促進に対しては、他の医療機関の帝王切開率と比較しても、一定の効果がある。

また経膣分娩率は過去の発表より上昇傾向にある。治療穴に合谷を追加したことで、今までなら帝王切開に至ったものを避けられた例もある。



妊娠から出産直前まで鍼灸治療を行い無事に出産できました。

共同発表 ・華梨堂 松山優 ・はりきゅうルーム hinata 久保田真弓
協力 助産院マタニティアイ（釧路町）

はりきゅう・アロマ あんずの種

本院 北海道釧路市愛国 191-5717 院長 須藤隆昭

電話 0154-39-2589

分院 沖縄県宮古島市平良字松原 1125-11 オーシャンビュースカイ 206号

電話 080-4044-2589

メール tane@anzu946.com ホームページ <http://anzu946.com>